

平成30年度 第3回 大阪市立常盤小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立常盤小学校
校長名 三島 公徳

日 時	平成31年3月7日 (木) 午後4時00分～午後5時40分	
場 所	大阪市立常盤小学校 多目的室	
出席者	委員など	福田雅史 (会長) 高岡祥介 (委員) 藤田実由貴 (委員) 中定浩 (委員) 石井有美 (委員)
	校園	三島公徳 (校長) 林真美子 (副校長) 望月幹雄 (教頭) 辻野拓也 (教務主任)
	区役所	山田隆昭 (担当係長)、畠中係員
議題	(1) 運営に関する計画 最終評価について (2) 学校改善に向けた意見交換について (3) その他	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 取組内容及び達成状況について了承された。	・【子どもが安心して成長できる安全な社会の実現】については、目標通りに達成できた。校内調査における学校で認知したいじめについて、全て事実確認及び指導、保護者への連絡等を終え一定の解決を得ている。経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的回答も目標に達した。防災・減災教育の推進については、計画通り実施できた。様々な場面や状況を想定して訓練を行うにあたり、休み時間に発生した訓練を行った。本校分校に分かれているため、指導者側の綿密な役割分担と訓練が必要である。新たに不登校になる児童は減少傾向にある。児童の個々の状況を考え、ほっとスペースを有効に活用し、不登校状態の改善に努めていく。 ・【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】については、学力経年調査における全市共通目標において、Bとする。標準化得点を同一母集団で比較した結果、前年度より若干減少している教科が2, 3あったが、数値としては全て市平均を上回った得点であった。どの学年も前年度と同程度の学力は身についていると考えられるが、学習指導においては、学力経年調査の結果を今後の研究推進の視点に取り入れていく。

	(2) 理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の対応について、ほっとスペースに常置できる生活指導支援員は、今年度は週4日。全市的に要望があり、次年度も配置されるか未定。子どもの状況について、学校だけでなく、地域や区役所など関係機関とも連携してサポートできる方法などを継続して検討をすすめていく。 ・児童への注意について、先生がしっかりと指導できる状況にないのではないか。すぐに「パワハラ」「暴力」といわれるような状況で、厳しい指導は難しい。親が子どもに言い聞かし諭すのが本来ではないか。教師のなり手が減っていくのではないかと心配する。 ・子どもと教師のコミュニケーションをとり、良い人間関係を作っていくことが大事。 ・まちなか防災について、防災意識がより高まるよう、日曜参観の中で学校全体としても協力していく。 ・放課後の遊び場所について、公園内での制約が多く、子どもたちはのびのび遊べる場所がない。4月から10月の期間は、曜日を決めて放課後校庭開放を行っている。地域としても校庭開放について協力できることを考える。
	(3) 理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホについて、学校への持ち込みはどうなるのか。ラインアプリなど、とんでもなく危険。大阪府で検討されているが、地域によって状況は異なる。じっくり検討してもらいたい。
協議資料	<input checked="" type="radio"/> 「運営に関する計画」 最終評価について	
備考	傍聴者なし	